

## 「鴨川メガソーラー建設予定地の尾根山行」下見報告

自然保護委員会 粟屋隆子 菅井修

【日時】：2019年2月27日（水）

【参加者】：菅井（千葉山）、田中（ふわく）、粟屋（こまくさ・記録）以上3人

【集合場所】：五井、車で現地に向かう

【コース】：峰の農道 11:05…246P 11:45…道祖神往復…246P 11:50…212P 12:17…  
228P 13:17…林道 13:50…郡界尾根ちょっと往復…林道 14:00…鴨川清掃セン  
ター先の駐車場所 14:45一車一峰の農道 15:00

【報告】：五井より車2台で出発する。現地で1台を鴨川清掃センター先、沼の約150m手前に路駐、1台で峰に行き、鴨川方面から香木原方面に向かって出発する。沢と尾根筋に古道があるが、沢に沿った道を進む。この辺の地質は柔らかい泥岩を主とする崩れやすい性質で、尾根にとりつくまでは、古道は荒れ放題で倒木や崩壊した滑りやすい泥岩やザレタ岩が転がり、道そのものが崩壊している所もあり、登りにくい。古道の谷側は見事な杉林だ。

尾根に出ると予想外に道があった。道祖神、祠、仏像が道筋に置かれ、この道が昔は鴨川と香木原を結ぶ主要な山道であったと思わせる。



痩せ尾根、広々と開けた場所、岩を飛んで移るような危険な場所もあり、ハイキングして気持ちの良い、面白い尾根であった。

+印の鉤が地面に打ち込んであり、新しいテープが木に縛り付けてあり、測量の人が最近入っている様子である。登山者や地元の人も入っているようだ。

太い樅木や椎の木などがあり、藤や山葡萄などのつる性植物が巻き付いていた。



箆リンドウの芽吹きも見られた。尾根からは谷を超え鴨川の街並みの見渡せる場所もあり、町に近い。私たちは尾根を通り香木原に向かう林道に出た。

林道を詰めるとすぐに郡界尾根に着く。郡界尾根をちょっとした高地まで進み林道に引き返す。林道から歩いてきた尾根筋が見える。計画ではその場所が削られてしまう。あの豊かな尾根は絶対に削ってはいけないと感じることができた。

林道を下る途中林道脇の湿った枯れ木にシイタケが生えているのを2か所で発見した。やがて車を路駐した場所に出た。全行程3kmあまりの歩程で3時間あまりかかった。



(記 栗屋 隆子)